

サポート資源提供システム 2008年度事業計画・予算

2008年4月1日～2009年3月31日

サポート資源提供システム 事務局

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

「サポート資源提供システム」は、本格運用6年目、「地域貢献サポートファンドみんな(みんなみんなファンド)」は、運用5年目に突入する。この6年で5213万円強の資源を地域の活動団体に提供してきた実績は、地域のシステムとして高く評価されている。

一方、システム自体は安定的に運用が可能になったが、担当職員の交替があり、また事務局費用の確保や寄付者の開発については、まだ大きな課題が残っているのが現状である。そのため、今年度からは新たな取り組みを進めていきたい。

一つは、昨年に引き続き地元企業のCSRへの取り組み支援として、セミナー等の開催、CSR大賞への推薦、CSRイブニング(交流会)、CSR報告書調査などを、ダイバーシティ研究所、日本財団Canpan、IHOEと提携して進める。またCSR推進相談所を設置したことで、地元企業の相談に乗り、働きかけの強化を図り、一緒にファンドを運営していく企業仲間の拡大を図る。せんだいCARE Sへの誘導も働きかけて行く。

また昨年度から準備をしてきた「みやぎの地域公益活動ポータルサイトみんな」を、6月10日に開設、NPO情報ライブラリーの機能充実と共に、総合的な地域公益ポータルサイトとしての運用を目指し、地元企業のCSR情報を積極的に掲載していく。本事業は、日本財団のCanpanサイトの地域公益ポータルサイトモデル事業として取り組んでいる。

[資源提供目標]

・システム協賛企業・団体	12社
・システム提携企業・団体	10社
・提供資金	900万円
・提供パソコン(中古PC)	30台
・提供物品(中古オフィス備品)	随時

[事業]

運営委員会	6/27、年度内にあと1～2回程度開催予定
セミナー等	企業対象のCSRセミナーの開催やCSR推進相談所の浸透
情報発信	地域公益活動ポータルサイトみんなの運用と定着

[事務局組織体制]

- ・全体責任者 / 加藤哲夫
- ・全体副責任者・企業コミュニケーション担当 / 紅邑晶子 (A)
- ・「資金」担当者 / 加藤哲夫 (B)、谷口恵子 (C)
- ・「物品 (中古オフィス備品)」担当者 / 青木ユカリ 紅邑晶子 (A)
- ・「パソコン等 (中古 P C)」担当者 / 谷口恵子 (C)
- ・「情報発信・ライブラリー管理等」担当者 / 小川真美 (D)
- ・会計事務担当 / 遊佐さゆり (E)
- ・担当理事 / 大滝精一、加藤哲夫、紅邑晶子
川村志厚、木村正樹、針生英一、増子良一

[年 間 予 算]

収入の部

システム協賛金：	10社×5万円+2社×10万円=70万円
事業収入A：セミナー、シンポジウム等	5万円
事業収入B：手数料収入等	150万円
負担金：せんだい・みやぎNPOセンター	200万円
合 計：	425万円

支出の部

人件費：A×1/20 + B×1/40 + C×4/5 + D×3/4 +E×1/20	= 306万円
管理費：社会保険料等	37万円
家賃、光熱費等 1/10	24万円
事業費：会場費	5万円
講師謝金・交通費等	10万円
運搬費	5万円
支払い手数料	2万円
事務局費：消耗品費	10万円
通信費	20万円
予備費：	6万円
合 計：	425万円